

授業評価 2015 (後期) T1P: 工学部デザイン学科

syll mkjhytex.pl Ver 2.80(2016-02-13) by Yas

2015 年度後期 工学部デザイン学科 授業評価 目次

授業コード	授業科目名	開講時限等	担当教員	ページ
T1P022001	コミュニケーションデザイン II	2 年後期水曜 4 限後半 / 2 年後期水曜 5 限	桐谷 佳恵他	T1P 1
T1P023001	デザイン科学演習 II	2 年後期金曜 1 限後半 / 2 年後期金曜 2 限	岩永 光一他	T1P 2
T1P028001	プログラミング演習 I	2 年後期金曜 4 限後半 / 2 年後期金曜 5 限	石橋 圭太	T1P 3
T1P043001	コミュニケーションデザイン IV	3 年後期水曜 3 限 / 3 年後期水曜 4 限前半	桐谷 佳恵他	T1P 4
T1P045001	生活行動の心理学	3 年後期火曜 2 限	桐谷 佳恵	T1P 5

授業科目名 : コミュニケーションデザイン II
担当教員 : 桐谷 佳恵, 大垣 友紀恵, 木村 博之
年次・開講時限: 2 年後期水曜 4 限後半 / 2 年後期水曜 5 限
授業コード : T1P022001
授業アンケート: 回答者数 27 人 / 受講者数 64 人 (回収率 42%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q29. この授業で良かった点について記入してください。(回答 3 件)

(後半担当講師より) ありがとうございます! よかったです。ぜひ皆さんが数年後にデザイナーとなり、ご活躍されることを、とても期待しております。

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。(回答 4 件)

(後半担当講師より) 真面目で真摯なアイデアも、大喜利のように面白いアイデアも、どちらも素晴らしいと思います。皆さんのオリジナリティを大切に制作に励んでください。加えて、そのアイデアを人に伝えるための、デザイン力(技術や完成度)もとても重要です。授業時間には限りがありますので、さらに個別指導を希望する方は授業後でも OK です。

どの課題も、制作時間が長いと感じる方も、短いと感じる方もいらっしゃいます。デザインは、やればやるほど深く難しく、終わりのないものです。世の中には素晴らしいデザインが沢山あります。それを超えられたかどうか、新しいデザインができたかどうか、何度でも挑戦してみてください。その努力を続けることで、きっと将来、世の中にヒットを飛ばせたときの喜びを、感じられると思います。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

(後半担当講師より) 特にコメントなし。

3. その他のコメントや連絡事項

(後半担当講師より) 特にコメントなし。

作成(者): 桐谷佳恵

授業科目名	: デザイン科学演習 II
担当教員	: 岩永 光一, 石橋 圭太, 久保 光徳, 寺内 文雄, 田内 隆利, 下村 義弘, 日比野 治雄, 小山 慎一
年次・開講時限	: 2 年後期金曜 1 限後半 / 2 年後期金曜 2 限
授業コード	: T1P023001
授業アンケート	: 回答者数 33 人 / 受講者数 77 人 (回収率 43%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q7. 教室の環境は満足できるものですか? (回答 32 件)

広い部屋で行うため、教室のまえの方でうけやすい環境を作っていきたいと考えている。

Q25. 実験・演習施設及び実験器具などは整備されていきましたか? (回答 16 件)

機材や設備が足りていたか、全般的にチェックしてみます。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

内容によって、課題にかかる時間の濃淡があったようで、特に順番について要望があったため、来年度は可能な限り調節してみます。

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 石橋圭太

授業科目名 : プログラミング演習 I
担当教員 : 石橋 圭太
年次・開講時限: 2年後期金曜 4 限後半 / 2年後期金曜 5 限
授業コード : T1P028001
授業アンケート: 回答者数 18 人 / 受講者数 39 人 (回収率 46%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 17 件)

教室のうしろからは見えにくかったです。次年度は教室が変わるので、資料の作成時に注意してみます。

Q11. 授業内容の量を考慮すると, 進度は適切でしたか? (回答 17 件)

積み上げ式で演習を行うため、特に後半は進度が速まることは最初に説明していたが、十分に周知できていなかったようである。次年度はこの点について、特に注意して説明する予定です。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 17 件)

理解度にばらつきがあったようですが、毎週の課題を確実にこなしていた学生の場合は問題がなかったので、演習科目は実習科目とは違い予習復習を前提に授業を進めることを周知徹底したい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

積み上げ式で演習を行うため、後半になるほど各回で教わる内容は高度になっていきます。最終課題提出前に一気にキャッチアップしようとするとうまく失敗しますので、毎週確実に各回の課題をこなしてレベルアップしていくようにしてください。

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 石橋圭太

授業科目名	: コミュニケーションデザイン IV
担当教員	: 桐谷 佳恵, 鳥巢 智行
年次・開講時限	: 3 年後期水曜 3 限 / 3 年後期水曜 4 限前半
授業コード	: T1P043001
授業アンケート	: 回答者数 15 人 / 受講者数 36 人 (回収率 42%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。(回答 2 件)

(後半担当講師より) 路線図デザインをコミュニケーションデザインにふさわしい課題と理解してくれたことはこの課題の狙い通りであり良かったと思っています。2 年次より取り組みたかったとのことですが、新たに接する課題を深く理解し集中力を高めていくことも大事なことです。実際後半に完成度が高まっていく人も多くいました。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

(後半担当講師より) 特になし

3. その他のコメントや連絡事項

(後半担当講師より) 身近な公共交通の課題を知り、その課題解決にコミュニケーションデザインを有効的に活用することを学びます。自分で改善したい対象を見つけ、自分のデザイン力で課題解決をしていく、という方法で課題製作をしてもらいました。自分の設定した目標を計画的に進める能力も高めてもらいます。(次年度に向けて) 課題図書「都市と交通」を熟読してください。身の回りや世界に目を向けて、自分の好きな路線図、自分が改善したい路線図、を見つけておいてください

作成(者): 桐谷佳恵

授業科目名	: 生活行動の心理学
担当教員	: 桐谷 佳恵
年次・開講時限	: 3 年後期火曜 2 限
授業コード	: T1P045001
授業アンケート	: 回答者数 13 人 / 受講者数 38 人 (回収率 34%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q6. Q5 の評価が「はい」でない場合、その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 2 件)

「スライドに書いてある日本語が理解しづらかった。(多義的な解釈ができるなど)」というコメントを頂いた。今一度、スライドや板書の文言には気をつけたい。また、この種の指摘は、授業中に頂けるとありがたいのだが。。

Q8. Q7 の評価が「はい」でない場合、その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 3 件)

温熱環境への不満があった。受講生全員を満足させることは難しいが、暖房のオンオフなど授業中でも対応をしていた。この種の指摘も、授業中に頂けるとありがたい、というか、そのときにももらえないとあまり意味がないのだが。。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

満足度も理解度の高いようだった。そうでない回答が 1 名からあるが、具体的な内容が知りたい。

3. その他のコメントや連絡事項

課題やレポート作成など、自主的な参加が強く望まれる授業。グループ作業も多い。心理実験を行う。自分を振り返る作業、これからを考える作業もあり、この手のことを望まない学生には不向きな授業。

作成(者): 桐谷佳恵